

製品のお買い上げにあたって

STAGEO FREE

- 最長W9600mm(最大連結数:4連結)まで連結可能です。
※W2800は2連結まで
- 移転や移設、部品交換時の施工は、販売店にご依頼ください。

■トレー付タイプについて

- STAGEO FREE type-S/トレー付に関してはすべて鍵付ですが、番号はすべて異なります。内筒交換対応のため、同番にしたい場合は販売店またはプラスグループ営業所までお問い合わせください。
- STAGEO FREE type-S/トレー付タイプにキャビネットを入れる場合、キャビネットはH635mm以下のものをお選びください。
- STAGEO FREE type-WにA3・A4トレーを取り付けた場合、キャビネットはH628mm以下のものをお選びください。(トレー取付箇所以外の場所ではキャビネットはH635mm以下のものが設置可能です)
- STAGEO FREE type-S / type-Wに設置するキャビネットは、両面タイプ D585mm以下、片面タイプ D670mm以下のものをお選びください。

■カウンター天板積載質量について

- 最大積載質量:20kg
※W2400、W2000のデスクトップパネルにカウンター天板を2枚設置する場合、1枚あたりの最大積載質量は10kgとなります。
※カウンター天板の上に偏って重いものを載せないでください。落下の危険性がございます。

XFシリーズ デスク・テーブル

- 移転や移設、部品交換時の施工は、販売店にご依頼ください。

収納部などの施錠

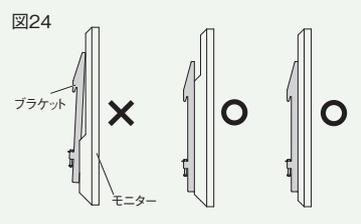
- デスクの引出しなど収納部の施錠について、詳しくは P.巻末03をお読みください。

V1シリーズ

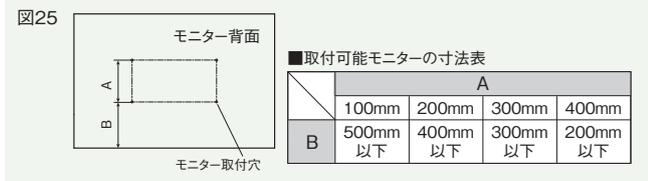
- 壁付けタイプは背面パネルによる仕上げを施していないため、ガラス張りの壁面や窓面には設置できません。

■V1 ミーティングユニットモニター取付仕様について

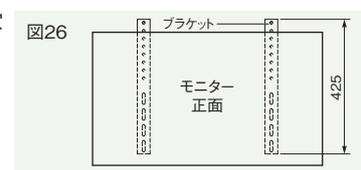
- VESA規格
W100/200/300/400対応
- 対応モニターサイズ
32~65型 重量40kg以下
- モニター裏面の取付穴の面に対して、背面に突起形状(カーブ、ふくらみ)があると取付できません。(図24参照)



- モニター裏面の取付穴寸法Aとモニター下端部までの寸法Bの関係によって取付できないモニターがあります。必ずモニターの取扱説明書等にて、モニター寸法をご確認ください。(図25参照)



- モニターの縦寸法、および取付穴の位置によっては、モニターからブラケットがみ出します。(図26参照)



DANCE

お買い上げにあたりましては、以下の注意事項をお読みいただき、ご了承いただいた上での購入をお願いいたします。

- DANCEシリーズは天然の木材を使用しているため、一つひとつ色合いや木目が異なります。
- 天然木の特性として、角材に反りや変色が生じる場合があります。
- 角材に反りが生じて、通常の使用における強度や安全性に影響はございません。安心してご使用いただけます。

モニターアーム

■モニター取付可能台数の算出方法

モニターアームの重量とモニターの重量を加算した総重量により、取付可能な台数を算出します。

- デスク全サイズ共通(天板1枚あたり):モニター取付総重量20kgまで
例 CR-LA1501BK 重量3kg+モニター 重量4kgのとき 総重量7kg
取付可能数:天板1枚あたり 20kg÷7kg≒2.8台⇒2台まで
- デスクトップパネル、ファンクションビーム1枚あたり:
モニター取付総重量20kgまで(両面・片面共通)
※ファンクションビームW2000~W2800は2枚で1セットです。1枚あたり20kgまで取付可能ですので合計40kgまで取り付けられます。
※片面タイプ背面側への取り付けはできません。
例 デスクサイズW2400 ファンクションビームW2400のとき
XA-NMA100 重量1kg+モニター 重量4kgのとき 総重量5kg
取付可能数:ファンクションビーム1枚あたり 20kg÷5kg=4台まで
ファンクションビーム1セットあたり 4台×2=8台まで
- モニターアーム各製品の重量は下記の重量一覧表をご参照ください。

重量一覧表

固定方法	品番	重量(kg)	固定方法	品番	重量(kg)
天板クランプ固定	CR-LA1003N	3.3	デスクトップパネル固定	ST-NMA03	1.5
	CR-LA1501BK	3		ST-NMA04	1.5
			ファンクションビーム固定	XA-NMA100	1

ローパーティション

■XFスクリーン レイアウト制限

- 使用の際は、図27~図31に示す各条件を必ずお守りください。
☆制限範囲を超えたレイアウトに関して事故などが生じた場合は、保証対象外となります。
☆図28,30に必ずアジャスタータイプを2個(図30の場合は左右のパネルの内側)にご使用ください。

